

調査の概要

○調査実施日 令和5年9月5日（火）
 ○調査の目的 ◇大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
 ◇市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
 ◇学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
 ◇生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
 ○調査内容 ◆学力に関する調査（国語・社会・数学・理科A/B/C・英語）※理科C5校
 ◆学習状況に関する調査（生徒アンケート）
 ○調査参加者 中学3年生（本市参加者 540人）
 ※教科や出題範囲が限られていることから、中学生チャレンジテストにより測定できるのは学力の特定の一部です。

調査結果について

【①教科別平均点・対府平均比経年比較】
 教科別平均点については、昨年と比較すると理科を除いたすべての教科で上回る結果となりました。しかし、府の平均と比較するとすべての教科で下回っており、特に理科においては、年々正答率が低下し、大きな課題であると捉えております。

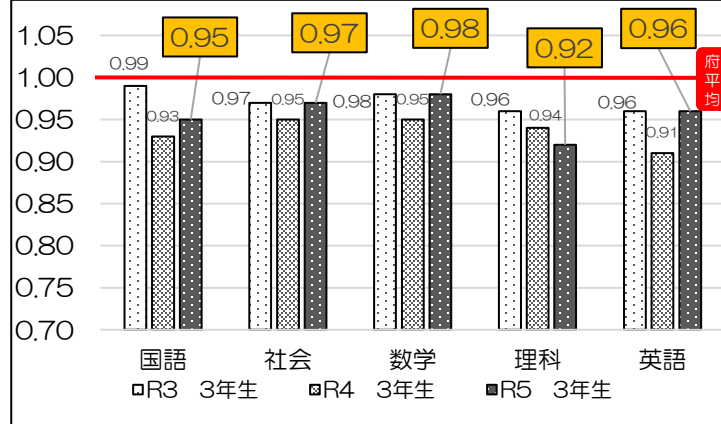
【②教科別得点分布・無解答率】
 教科別得点分布については、すべての教科において下位層（30点未満）が多く、基礎内容の定着が課題であると捉えております。
 無解答率についても、全教科において、府平均よりも高く、テストに対して最後まで粘り強く取り組むことに課題が見られております。

【③観点別・設問別結果】
 設問別にみると、「記述式」の正答率が他の設問形式と比べて、府平均と同等の教科が多くありました。授業で自分の考えを整理してまとめる活動や友達と意見を交換する活動を積極的にやっていることで、裏面アンケート項目の数値が改善され、その結果、自分の考えをまとめて言語化する力がついてきている成果だと捉えております。

①教科別平均点・対府平均比経年比較

	国語	社会	数学	理科	英語
本市平均点	59.1	53.1	50.9	44.0	52.1
大阪府平均点	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2
対府平均比	0.95	0.97	0.98	0.92	0.96

※対府平均比とは、大阪府平均を1としたときの本市平均の値です。



※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されていません。

今後に向けて

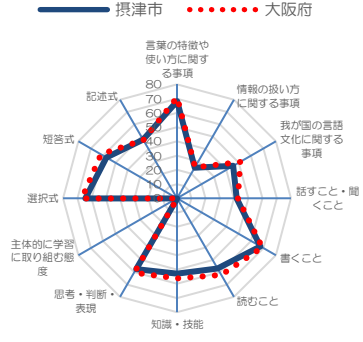
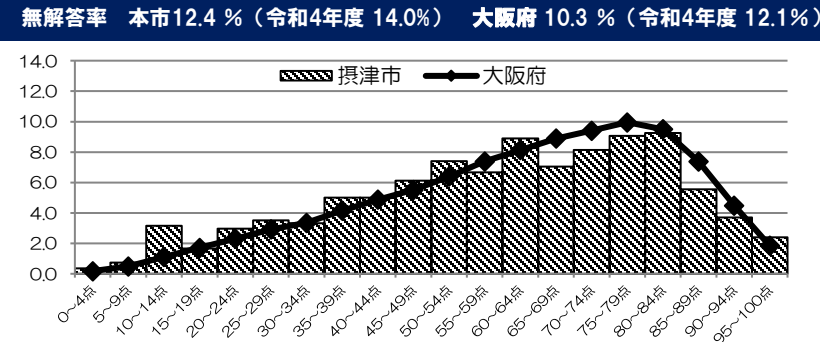
【学力向上が見られた市内学校の取組】
 ・授業の中で、「コミュニケーション力」や「協調性」、「意欲」などの非認知能力にスポットをあてた授業改善に取り組んでいる。
 ・授業者がタブレット端末を活用してクラス全員の学習過程を把握し、生徒一人ひとりに端末上でコメントを返すなどして、個別最適な学びに取り組んでいる。
 ・単元末に「あなたならどうするか?」といった自分視点で考える課題を設定するなど、生徒の主体性を高める仕掛けをしている。
 ・学校全体で教員同士が日々の授業を参観し合い、教科の指導方法や発言のポイントなどを具体的にアドバイスし合うことで、日々の指導力向上を図る「相互授業参観」の取組を行っている。
 →教育委員会では、これらの取組を好事例として、その意義・目的とあわせて市内全体に普及させてまいります。

【課題に対する教育委員会の方策】
 ・チャレンジテストの分析結果を市内で共有し、各校の授業改善に活用できるよう支援する。
 ・指導主事を各校に派遣し、授業や取組に対する指導助言、教員研修等の充実を通して各校の授業改善、学力向上の取組を支援する。
 ・スマートフォンの使用率が府平均に比べ多いことから、SNS等について安全な使い方やリスクに係る研修を実施し、本市で導入している教材を活用してスマートフォン等の適切な使い方や情報モラルを含めた情報活用能力が育成できるよう支援する。
 ・学びに向かう主体性を高めるために、学校での学びと将来をつなげるキャリア教育の推進するとともに、取組の好事例を収集し、学校や保護者に情報発信する。
 ・教育委員会が主催している「摂津SUNSUN塾」について積極的に周知し、学習習慣を身につけるための場を提供する。
 ・一人一台のICT端末の効果的な活用方法について、各学校の好事例を共有するとともに、より効果的な活用についての指導・助言を行う。

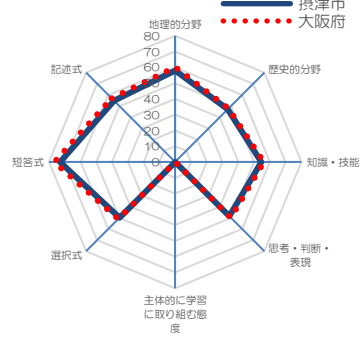
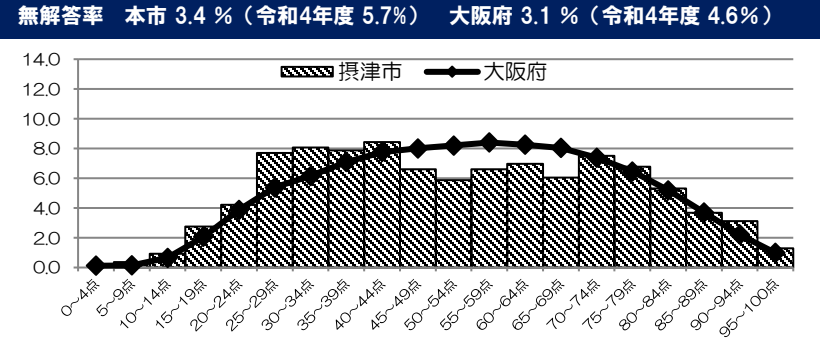
【家庭へのお願い】
 <基本的な生活習慣の定着>
 適切な生活リズムを意図的につくり、発達段階に応じた適切な睡眠を取るよう促していただきますようお願いいたします。
 <家庭学習・主体的な学びへの支援>
 学年に応じて家庭学習の適切な時間を定め、子どもと一緒に学習する時間も設けながら、主体的に学習できるようご支援をお願いします。
 <スマートフォンやゲーム等のルールづくり>
 ゲームやスマートフォン等の使用状況を把握し、使用時間や使い方について家庭内でよく話し合い、適切なルールを決めていただきますようお願いいたします。

②教科別得点分布・無解答率

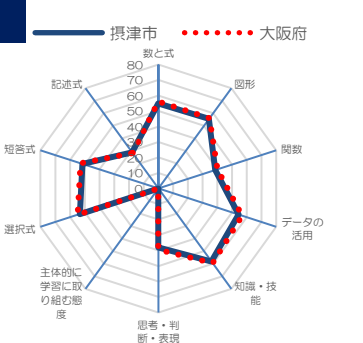
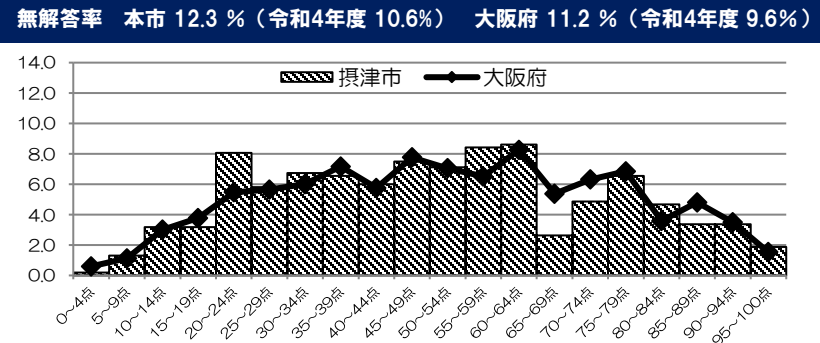
国語



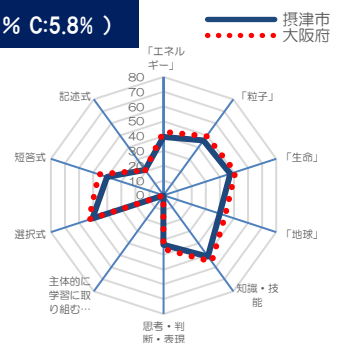
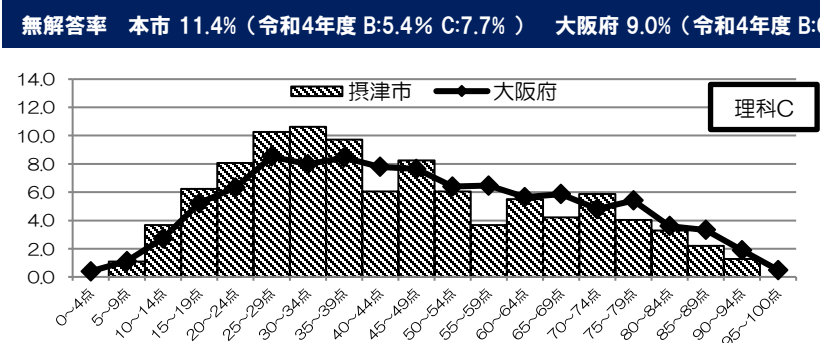
社会



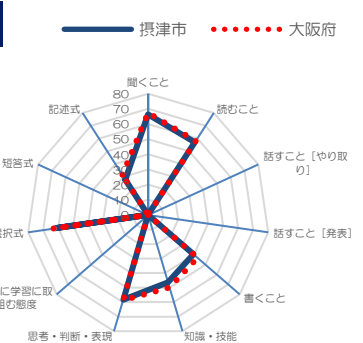
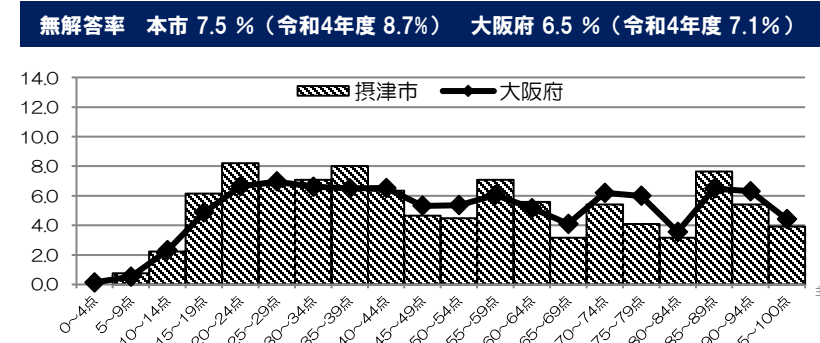
数学



理科



英語



授業についての意識調査

生徒アンケートでは、授業における学習活動の中身や学習集団としての成熟度、家庭学習やインターネットの使用についての質問など、右記の項目に対して、生徒自らが判断し、回答します。

令和5年度からアンケート項目が変更になったため、令和5年度の本市の結果と大阪府全体のアンケート結果のみ記載しています。

アンケートの全体的な傾向として、ICT機器を活用する項目において、大阪府全体と比較して肯定的回答が上回る結果が見られます。

【学習方法・主体性・家庭学習習慣の定着】

⑤の項目について、肯定的回答が大阪府とほぼ同等の結果となりました。一方で、①②においては、大阪府全体と比較して、「当てはまる」と回答した割合が下回る結果となりました。

この結果を踏まえ、授業や様々な教育活動の中で、生徒自身が「もっと学びたい」と思えるような仕掛けを行うとともに、引き続き、中学校区の小中学校で連携した「家庭学習週間」の取組等を実施し、主体的な家庭学習習慣の定着をめざします。

【授業改善】

③④の項目について、大阪府全体と比較して高い数値となりました。タブレット端末を活用し、自分の考えを整理してまとめたり、友だちとの意見交換をする活動を行い、自分の言葉でアウトプットすることで、授業内容を理解することにつながっております。これまで摂津市で力を入れてきたICTを活用した授業改善の成果だと捉えております。

【学級等の集団作り】

⑥⑦の項目について、大阪府全体と比較して、「当てはまる」と回答した割合が下っております。この項目については、いじめや暴力行為、不登校などの生徒指導の諸課題につながる可能性のあるものとして捉えております。その改善にむけて本市では、生徒同士で互いの良いところを価値づけるなど、心理的安全性を高める取組を行っております。摂津市のめざす学校の姿に示している「学校に関わる全ての人がとって居心地が良くみんなでもとに創る持続可能な学校」が実現できるよう、引き続き指導してまいります。

【読書習慣・キャリア教育・家庭でのスマートフォンの活用】

⑩について、大阪府全体と比較して、1時間以上本を読んでいる割合が上回る結果となっております。⑧⑨においては、肯定的割合が大阪府全体を下回っており、忍耐力や社会への関心等に課題が見られました。これらの改善に向けて、忍耐力をはじめとする非認知能力を高める取組やキャリア・パスポートを活用し、自分の将来について考える時間を設けるなどキャリア教育の充実に取り組んでまいります。

⑪においては、スマートフォンの使用時間が大阪府全体の数値と比べて高め傾向にあります。スマートフォンの節度ある適切な使用について、家庭と連携を取りながら、生徒たちに啓発してまいります。

大阪府全体の分析では、右記生徒アンケートに肯定的に回答した生徒は否定的に回答した生徒に比べて、チャレンジテストの正答率が高い傾向にあるといった分析結果が出ております。そのことを踏まえ、正答率だけでなく、生徒アンケートの肯定的回答が増加するような授業改善に取り組んでまいります。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習の定着について、ご協力をよろしくお願いいたします。

チャレンジテストについては、大阪府全体の調査結果とともに、「ワークブック」や「かだめしプリント」などの学習ツールが大阪府教育庁市町村教育室小中学校課のWebページに掲載されていますのでご利用ください。

【かだめしプリント】

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/chikarasyoukai/index.html>

【ワークブック】

<http://wwwc.osaka-c.ed.jp/kate/karicen-folder/workbook-for-pref/workbook-index.htm>

【ことばのちから】

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kotobanotikara/kotoba-katuyou.html>

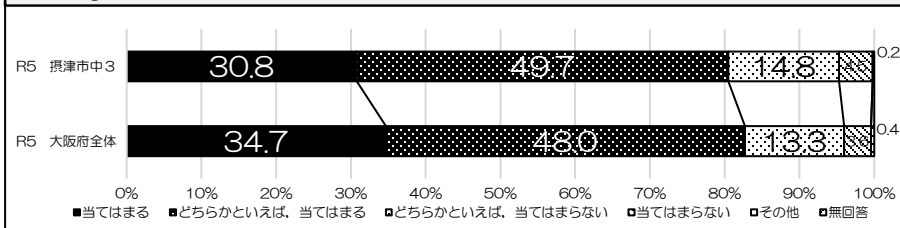
【中学生チャレンジテスト】（正答例なども掲載）

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/index.html>

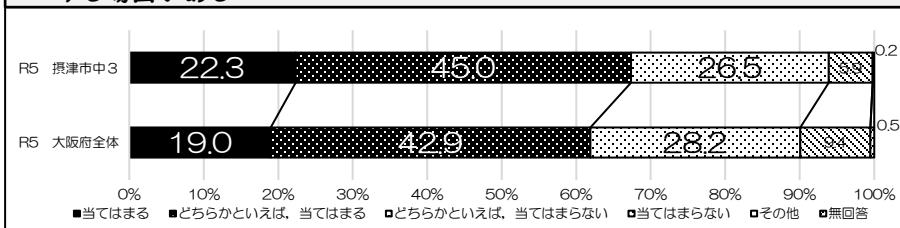
今年度大阪府全体の回答との比較

※令和5年度より質問項目が変更されました。

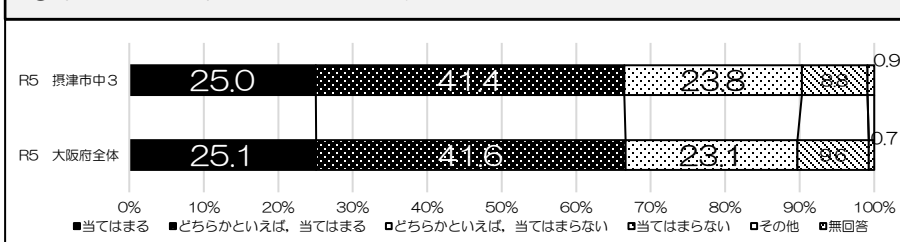
①文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる



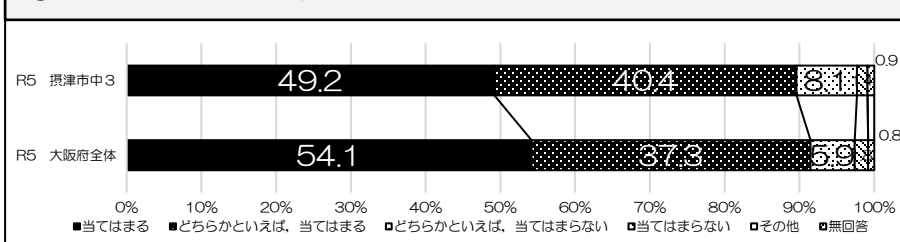
③授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある



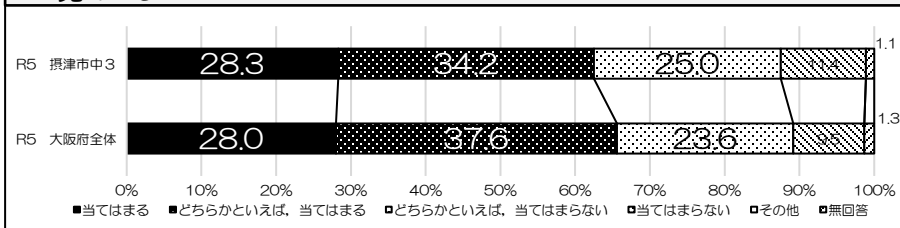
⑤家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している



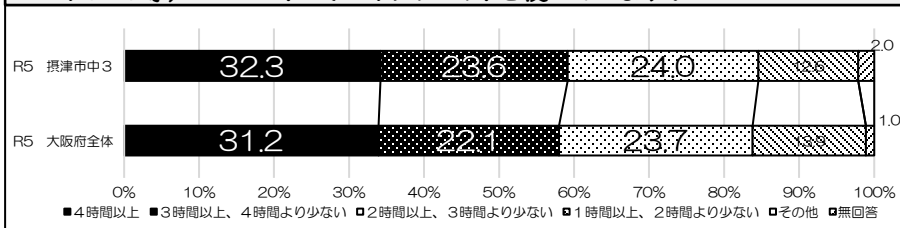
⑦学校などで、他の人と協力し合うことができる



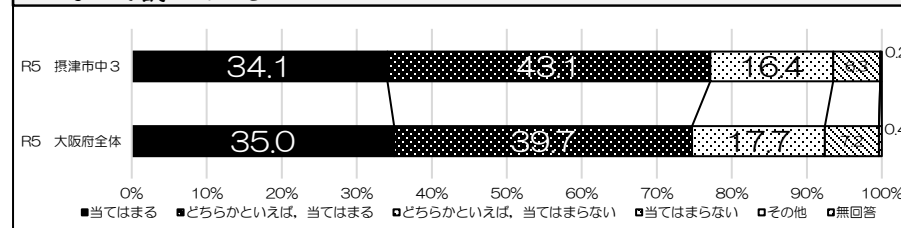
⑨テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている



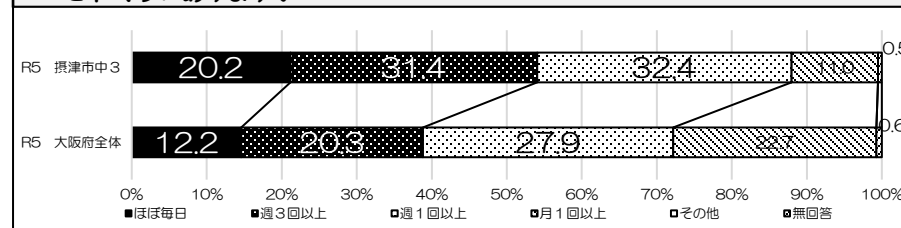
⑩普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNS等）にスマートフォンやタブレットを使っていますか



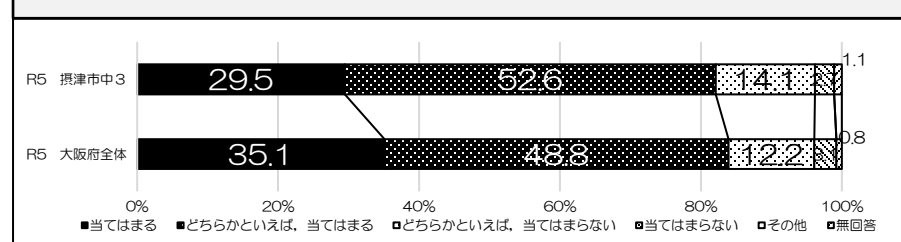
②わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている



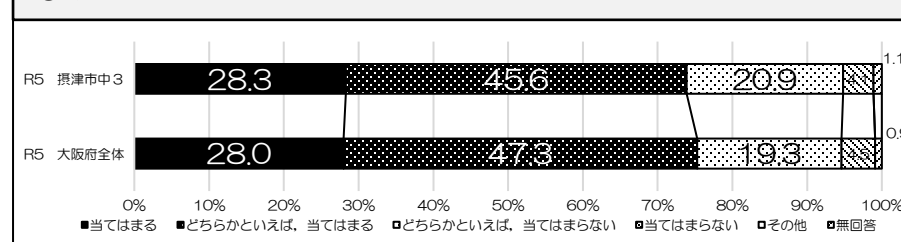
④授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか



⑥あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある



⑧難しいことがあっても、あきらめない



⑩普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか

